

その他

Q 〈時光 良造 議員〉  
町制100周年の記念事業は

A 〈町長〉  
記念式典の実施と多くの町民が参画できる行事を考えている。



〔Q1〕 平成30年は、町制施行100周年を迎えるが、どのような記念行事を計画しているか。  
〔A1〕 町民が参画する行事として夏祭りなどのイベント、PR事業として、フラワーフェスティバルなどへの参加、全国ネットのテレビ・ラジオの公開番組の招致などが考えられる。また、既存の各種事業ともタイアップするなど、年間を通じて事業を設定し、より多くの住民に参画していただく考えである。

〔Q2〕 イベントを含め住民が参画する事業はどのような実施体制のもとで行う考えか。  
〔A2〕 記念事業によって、実行委員会を組織し、住民の柔軟な発想・民間のノウハウを活用していきたい。

〔Q3〕 100周年により住民の参画を求めるうえで、記念事業を一般公募するといった発想はないか。  
〔A3〕 一般公募することは考えていない。住民との協同事業など、既存の公募事業との関係整理も必要と思われるが、冠事業として協賛いただける団体等を公募するといった手法も含めて考えてみたい。

「i広報紙」によるスマートフォンやタブレットへの「広報くまの」の配信は、無料のアプリをダウンロードしておけば簡単に町広報を閲覧することが可能である。また、新着情報が配信された場合は、画面表示で確認できるなど、大変便利なものと感じている。広島県内でも既に導入済みの市町もあり、手続き、管理等を調べ導入検討を進めてみたいと考えている。

Q 〈沖田 ゆかり 議員〉  
端末用無料アプリによる広報紙の配信を

A 〈町長・総務部長〉  
導入検討を進めてまいります。

〔Q1〕 現在、町広報は自治会を通じて配布されているが、自治会に入っていない世帯には配布されていない。  
広報紙を入手できない町民のためにも、より多くの町民が手軽に町の情報を得られるよう、スマートフォンなどの端末用の無料アプリ「i広報紙」による「広報くまの」の配信を行うってはどうか。  
町の費用負担はなく、利用者は設定した自治体の最新号を自動的に受け取れるほか、気になる記事を取りおいて保存もできることから、熊野町でも導入を検討していただきたい。



〔A1〕 「i広報紙」によるスマートフォンやタブレットへの「広報くまの」の配信は、無料のアプリをダウンロードしておけば簡単に町広報を閲覧することが可能である。また、新着情報が配信された場合は、画面表示で確認できるなど、大変便利なものと感じている。広島県内でも既に導入済みの市町もあり、手続き、管理等を調べ導入検討を進めてみたいと考えている。

Q 〈民法 正則 議員〉  
投票率向上のため、若い世代への意識醸成を

A 〈総務部長〉  
関係機関との連携した取り組みに努める。

〔Q1〕 7月の参議院議員選挙から選挙年齢が18歳に引き下げられたが、本町の18歳の投票率は42%、19歳は38%であり、町全体の投票率は52%からは、それぞれ10ポイント以上低い。今回の選挙では、18歳以上の若者に向けて、どのような啓発活動が行われたのか。また、現状の投票率をどのように受け止めているか。  
〔A1〕 高等学校では、副教材を活用して主権者教育の充実が図られた。町選挙管理委員会においても、広報の充実、成人式での模擬投票の実施、路線バス内へのポスター掲示、早朝街頭啓発の実施のほか、学生を選挙事務従事者に委嘱するといった新たな取り組みも行った。周辺市町との比較か

らは、本町の18歳19歳の選挙への関心が相対的に低いとは思われないが、関係機関とも連携し、主権者教育や啓発活動が一層充実したものと努める。  
〔Q2〕 例えば、熊野高校に出向いて啓発活動を実施したり、毎年行っている中学校での町長出前授業を活用するなど、生徒が政治に関心を持つような働きかけをしてはどうか。  
〔A2〕 高等学校での啓発活動については、学校側の意向も確認したうえで検討したい。小・中学校の出前授業では、将来、投票を棄権することのないよう呼びかけており、今年も同様に行う考えである。

Q 二代表制について問う

A 〈町長〉  
首長と議会による公正な行政運営の確保。



片川 学 議員

〔Q1〕 3期目を表明された町長に、今後の町政と町民のために改めて認識を問う。  
〔A1〕 町議会の高いご見識、議会改革等に対するご努力もあり、本町では、二代表制が機能している。

〔Q2〕 町長は、町、町民、そして議員についてどのように考えているか。  
〔A2〕 町については、人口を維持し活力を維持していきたい。町民とは、地方公共団体を構成する最も基礎的な主である。議員とは、住民の意思を反映する機関と認識している。

〔Q3〕 8年間、議会の場においても態度が悪く、正していただきたいが。

〔A3〕 私は、議会軽視はなかったと考える。もしも、議会から態度を問われるなら反省すべき点は今後改めていく。

〔Q4〕 町執行部、職員に信頼をおいて職員の能力を最大限に発揮さす方向性に向かっていただきたいが。  
〔A4〕 町全体の今後の運営については、私が発言する機会が多くご理解いただきたい。

〔Q5〕 3期目を目指しているなら、初心に返っていただきたい。熊野町のために何をなすべきか、是非々々で判断して、前向きに、自分の力を町民のためにしっかり発揮していただきたい。